
「本当にあった面白い話」

直江 カネツグ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「本当にあつた面白い話」

【Nコード】

N0299G

【作者名】

直江 カネツグ

【あらすじ】

実際にあつた面白い話をまとめてあります。

第一話

第一話 「タイヤ事件」

ある朝、友人のO君は仕事に向かうため自転車の元へ行つた。

新しい自転車・新しい職場…

気持ち良く自転車に乗つたら視界がおかしい…

体が斜めになっているのだ、 どうやら前輪がないらしい。

「やられた…」

自転車のタイヤは盗まれていたのだ、

会社に事情を話し警察で被害届をだし、

その帰り自転車屋さん修理を頼みに行った。

「いや〜今日ちょうど良い中古のタイヤ入ったんだよ、
んラッキーだねえ〜」

お客さ

ん？まさか…

タイヤは見事にピツタリ

「盗んだのお前だろ！」

と思いつつ自分のタイヤに五千円払い帰つたそうです。

それから数カ月経つたある日、

いつもの様に自転車に乗り込むと、激痛が！

今度はサドルがない…

O君は、また自転車屋さんに行きました。

サドルが盗られました…

「また同じセリフ… いやあ、ちょうど同じサイズの……」
間違いないコイツだな…

と思ひまた五千円払い帰宅…

〇君の災難はまだ続くのでした…

第一話 おわり

第二話 「消えたハムスター」

これは僕自身が体験した話です。

動物が好きでインコや犬それにハムスターを飼っていました。

中でもハムスターは特別かわいくて良く遊んでいました。

沢山の餌を買い、奮発して大きなカゴも買いました。

だが、それが失敗でした。

数日後… ハムスターは消えていました。

たぶん、大きくなったカゴの隙間から出たのでしょう…

必死に探したが見つからずに 数日後発見される事となります。

家はネズミに悩まされていました。

そこで母がネズミ取りを仕掛けて居たのです。

そう……

ハムちゃんは、その中で生き絶えていたのです。

狭い所に入る習性、ハムスターもやっぱりネズミなのです。

みなさんもお気をつけ下さい。

第二話

「消えたハムスター」

完

おまけ、 「特別編」

ある日の事との出来事です。

僕の家友人が遊びにやって来ました。

たわいの無い話で盛り上がり、

リラックスしたのか靴下を脱ぎ話していました。

暫くすると何か匂うのです。

「ん？なんか臭くねーか？」

二人で匂いの原因を探りました。

そこで見たものは……

ペシャンコになったカメモシだったのです。

「あっ…あしが臭い」

そう…カメモシを潰したのは素足の友人の足でした。

結局洗っても匂いは取れず臭い足で帰るのでしたとき。

完

最後までお付き合い頂きありがとうございます。

これからも宜しくお願い致します。

第三話 「母は見た」

第三話 「母は見た！」

この話は、高校生だった頃の実話です。

その当時は、良く友達が集まる、いわば溜まり場的な家でした。

学校が終われば、とにかくみんな集まっていた。

たわいの無い話に盛り上がり、それなりに楽しかった。

いつしか皆、彼女が出来始め彼女を連れて来ていた。

ある日、K君が彼女と遊びに来た…。

だが俺は用事があったので、二人を自分の部屋に残し出掛けた。

二時間くらいで戻ると二人は居なかった。

何故だろうと思いつながら、二年、三年が立ち、そんな事は忘れていた。

もう二十歳になり家族でドライブへ出掛けた。

すると母が話し出した。

「二、三年前にK君がいとなんでの見ちゃった」

「うん？いとなんでる？」

話を良く聞いてみると、

三年前のあの日、母は僕を呼びに部屋の戸を開けたそうだが、すると、そこにはエッチをしているK君が居たそうだ。

「目が合い気まずい母とK君」

しかも、ベッドではなく

床で布団もかけず産まれたままの姿で……

その後K君が帰った事は言うまでもない。

謎が解けてスッキリした反面、K君とはきまざくなりました。

第三話 完

「オマケ」

前回話した、カMEMシを踏んだ友人、

踏んだのはカMEMシだけでは無かったのです。

ある日、遊びに来た友人が帰宅しようとして階段を降りた。

玄関は暗かった、

「ギャー」と友人が叫んだ。

何かと思い電気を点けると、茶色い何かを踏んでいた。

友人が踏んだのは、玄関で飼っていた犬の糞だった。

「フンをフンだ、なんちゃって……」

時間が止まった。

本当に踏んだ人には笑えるはずもなく、靴下を置き土産に帰りましたとき。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0299g/>

「本当にあった面白い話」

2010年10月13日17時52分発行